

ポイント:問題解決的な授業の展開 考え、話し合う場の設定

第1学年 組 道徳学習指導案

平成 年 月 日 () 第 校時 場所 年 組教室

指導者 ○○ ○○

- 1 主題名 よいと思うことはすすんで【A-1 善悪の判断, 自律, 自由と責任】
資料名 「ぼんたとかんた」(「わたしたちの道徳 小学校1・2年」文部科学省)

2 主題について

(1) 本主題の内容項目は、よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うことをねらいとしている。低学年の段階においては、何事にも興味・関心を示し意欲的に行動することが多い反面、生活経験の少なさから引っ込み思案になったり物おじしたりすることもある。低学年のうちに、よいことと人間としてしてはならないことを判断する力を養うことは大切であると考え。また、よいと思ったことができた時のすがすがしい気持ちを想起させ、正しいことは進んで行おうとする意欲と態度を育てていくことが大事である。

(2) 本学級の児童の実態は次のとおりである。(調査対象○人)

善悪の判断に関する意識調査の結果

問1 《自習時間に、後ろの席の友達2人が小さい声でふざけておしゃべりを始めました。あなたは、どうしますか?》

- ・「だめだよ。」と言う…○人 主な理由：いけないことだから。迷惑になるから。
- ・(黙っていて)後で先生に言う…○人 主な理由：自分では言えないから。いけないことだから。
- ・(黙っていて)誰にも言わないでおく…○人 主な理由：自分では言えないから。
- ・一緒におしゃべりする…○人 主な理由：楽しそうだから。

問2 《よいことを、進んでしていますか。》

- ・いつもしている○人 だいたいしている○人 あまりしていない○人

問3 《やってはいけないことをしたことがありますか。》

- ・ある○人 ない○人 思い出せない○人

問1から、よいことと悪いことの区別はできても、様々な理由から行動できない自分を自覚していることがうかがえる。日常の様子では、よいことを進んですることもよくあるが、目先の事や自分の事だけ考えて行動してしまい、失敗したり迷惑をかけた後後悔している姿を見ることがある。

(3) 本資料は、次のとおりである。

仲よしのぼんたとかんたは、公園で一緒に遊んでいたが、かんたは、ぼんたが止めるのも聞かず、入ってはいけない裏山へ入ってしまう。ぼんたはじっと考えて、「ぼくは行かないよ。だってあぶないから。」と叫ぶ。その声に驚いて、かんたが裏山から飛び出してくる。そして、かんたも自分で考えて裏山に行かないことに決め、2人

で気持ちよく公園で遊ぶ。

児童の日常生活にも似たようなことがあり、自分自身のことと重ね合わせて二人の思いを想像しながら、よいことを進んで行うことについて考えることができる資料である。

(4) 指導にあたっては、次の点に留意する。

ポイント

①導入の段階

- ・アンケートの結果を提示してよいこととわかっていてもできないことを話し合い、本時の道徳的価値の方向付けをするとともに、本時の学習の課題を提示する。

ポイント

②展開前段の段階

- ・心情円盤を用いて迷っているかたの葛藤を考えた後、自分で考えて判断することの大切さを実感できるように、自分ならどうするかと、その理由をシートに書き役割演技をする。
- ・自分ならどうするか理由について「どうしてそう考えたの」などの切り返しの発問をして話し合うことで、高い価値の判断理由に気付かせるようにする。

- ・展開後段に入る前に、よいこととは誰のためなのかを考えさせることによって、善悪の判断をする規準は1つではないことに気付かせる。また、すぐに判断せずに多面的・多角的に考えることもおさえる。

③展開後段・終末の段階

- ・よいことやしてはならないことに関する生活の場面を想起しやすくするために「わたしたちの道徳」を活用する。

ポイント

- ・行動だけでなく「多面的・多角的に考えたか」「誰かのことを考えたか」を振り返り、出し合うことで、これからの生活に生かせるようにする。

- ・終末では、道徳的価値をこれからの生活に広げていけるように、子どもが「よいことかどうかを考えて行動をすることが大切である。」と感じられるような話をする。

④人権尊重の視点から

- ・子供の表情や活動の様子に応じて補助発問や個別の支援を行ったり、話し合いの場を設けたりすることで、どの子供も本時のねらいが達成できるようにする。

3 指導計画

次	各教科・その他	主な指導内容	体験活動等
事前	道徳 規則の尊重 「黄色いベンチ」	・資料を読んで、約束やきまりを守りみんなが使うものを大切にすることを考える。	日常の学校生活
本時	主題名 よいと思うことはすすんで 資料名 「ぼんたとかんた」(「わたしたちの道徳小学校1・2年」文部科学省) 中心価値 【A-1 善悪の判断, 自律, 自由と責任】		
事後	生活科 「こうえんであそぼう」	・公園に出かけ、動植物を観察したり、友達と遊んだりする中で、自然や人々の様子に気付かせる。	見学旅行

4 本時の学習

- (1) ねらい かんたが迷った末に、裏山に行かないことを決めた理由を考えることを通して、よいことと悪いことの区別をし、よいことを進んで行う判断力を育てる。
 (2) 展開

時間	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価	備考
導入 3分	1 本時の価値を知る。	アンケートの結果を見てください。 ・わたしは、できると思う。 ・分かっているけど、できない時があるよね。	ポイント ○アンケートの結果を提示して、よいこととわかっていてもできないことを話し合い、本時の道徳的価値の方向付けをするとともに本時の学習の課題を提示する。	
展開 前段 25分	2 資料「ぼんたとかんた」を視聴して話し合う。		○よいことややってはいけないことにはどんなことがあるのかについて、確認しておく。 ○ひみつ基地の魅力を話し合うことで登場人物に共感しやすくする。 ○中心発問で多様な考えが出るように、資料をかんたが迷うところまで提示する。 ○ぼんたが迷った末に断ったことをおさえることで、ぼんたの強い意思に気付かせる。	大型テレビ 紙芝居 フラッシュカード ハート図 心情円盤
	(1) 大声で「行かない」と言うぼんたの気持ちを考える。 (2) 自分がかんただったら、どうするか考える。	大きな声で言った時のぼんたの気持ちを考えましょう。 ・行きたいけど、危ないから行かないよ。 ・かんたくんも、行っちゃだめだよ。	ポイント ○心情円盤を用いて迷っているかんたの葛藤を考えた後、自分ならどうするかとその理由をシートに書く。	心情円盤 学習シート
		あなたが、かんたならどうしますか。それは、なぜですか。 かんた 「行かない」 ・しかられるかもしれない。 ・ぼんたくんもいかないなら、ぼくもいかない。 ・けがをするかもしれない。 「行く」 ・おもしろそう。 ・気を付けるから大丈夫。 ぼんた(役割演技) ・かんたくんが、行かなくてよかった。 ・行ったら先生に言うよ。	☆自分の判断と理由をシートに書くことができたか。 ○よいことをすることの大切さを理解させるために、行かなかった時と行った時のその後まで役割演技をする。	お面
			ポイント ○役割演技をさせながら、理由について繰り返し発問をして話し合うことで、高い価値の判断理由に気付かせるようにする。 T: 叱られないなら、裏山に行きますか？ C: 叱られなくても危ないことはしない方がいい。 T: もしぼんたくんが、やっぱり行くといい出したらどうしますか？ C: 自分で決めたことだから、行かない。	

まよったときは、どうしたらいいのかな。

展開
前段
25分

	<p>(3) 資料の後半を視聴し、裏山に行かずに公園で遊ぶ2人の気持ちを考える。</p> <p>(4) 本時の問題について考える。</p>	<p>ひみつきちにいくのをがまんしたのに、すがすがしいきもちになったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかり考えて行動できたから。 ・よい行動ができたから。 <p>よいことややってはいけないことをしようかやめようか迷った時は、どうしたらいいのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいことか悪いことかを考える。 ・自分や友だち、家族、地域の人、先生のことを考える。 ・その後のことを考える。 	<p>○迷うこともあるけど、しっかり考えてよいことをすることは清々しい気持ちになることに気付かせる。</p> <p>○迷った時の判断規準を子ども言葉でまとめる。</p> <p>ポイント ○よいこととは誰のためなのかを考えさせることによって、善悪の判断をする規準は1つではないことに気付かせる。すぐに判断せずによく考えることもおさえる。</p>	<p>挿絵</p>
<p>展開後段 15分</p>	<p>3 今までの自分を振り返る。</p>	<p>よいことをしたことや、してはいけないことをやってしまったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレのスリッパを並べなかった。面倒だったから。今度からは、次の人のことを考えて並べようと思う。 ・いじわるをしている友だちにだめだよと言った。かわいそうだったから。言ってよかったと思う。 <p>ポイント ○行動だけでなく理由も考える。その際、展開前段2(4)でまとめた「よく考えたか」「誰かのことを考えたか」を振り返り、出し合うことで、これからの生活に生かせるようにする。</p>	<p>○「わたしたちの道徳」を参考に、よいことやしてはならないことについて考え話し合う。</p> <p>○自分のことを振り返り、シートに書く。行動の理由や今の気持ちも考えるようにする</p> <p>☆自分の行動とその理由を振り返ることができたか。</p>	<p>わたしたちの道徳 大型テレビ 学習シート</p>
<p>終末 2分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>先生の話をお聞きしましょう。</p>	<p>○よいことを進んでするには、勇気がいるが大切であることを感じるような話をする。</p> <p>○本時の価値への高まりを自覚するために、学習シートのハートマークを塗る。</p>	<p>学習シート</p>

なまえ

Blank box for writing a name.

よいじつをするじろ

がつ 日にち

ぽんたとかんた

○あなたが、かんたなら、どうしますか？

だって、



Large speech bubble containing a writing template with horizontal dotted lines.

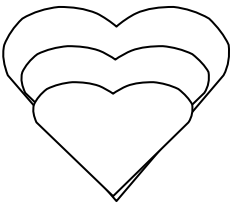
○よいとおもうことをすすんでしたことや、してはいけないことをして
しまったことはありませんか。そのりゆうやきもちもかきましよう。

よいじろ

よいき・よいい

Large writing area with horizontal dotted lines.

ふくらみ
ハート





よいこと・やっつてはいけないこと

まよったときは、どうしたらいいのか？

ぼんたとかんた

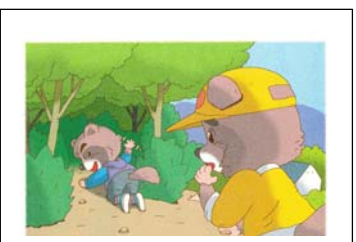
ぼんた



かんた

ひみつきち

「だめだよ。」



「ふたりでいこうよ。」
「いきいき。」

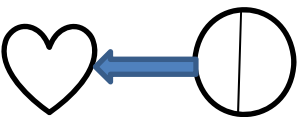
「あそびたい。でも……。」



「いかない。よくかんがえてきめた。だって、あぶないから。」

うらやまから、でてきた。

「どうしたんだい？」



だまって、かんがえた。



いく

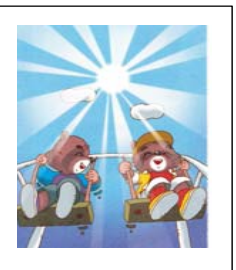
ばれないなら、いい。
おもしろそうだから。
きをつけるから、だいじょうぶ。



いかない

しかられるかもしれないから。
きまりだから。
ぼんたくんもいかないなら、ぼくも
いかない。
けがをするかも、しれないから。
うちのひとが、しんぱいするかもし
れないから。

にっこり



いかなくてよかった
すつきり

いいことかわるいことか？
あとでどうなるのか？
じぶんのことだけかんがえない。
ともだち、いえの人、ちいきの人
すぐにきめない。よくかんがえる。